

# 元気な“させぼ”から 県北に活力を

～中核都市としての機能強化と

活力あるまちを目指して～

平成23年12月

長崎経済同友会 佐世保地区

佐世保経済活性化提言会議

## 【目 次】

はじめに	1
佐世保経済活性化への提言(チャート図)	2
1. 佐世保市の社会的背景と都市構造	
(1) 佐世保市経済の状況	3
(2) 社会的背景と都市構造	6
2. 提言策定に向けた基本方針と検討方針	7
3. 提言	
(1) 観光振興委員会	8
(2) 産業育成委員会	11
(3) 基地経済委員会	13
4. 提言会議名簿	15

---

## はじめに

わが国では、人口減少や少子高齢化が急速に進み、国内市場は縮小傾向にある。また大都市圏への人口や消費の集中化は年々加速しており、地方との経済格差は拡大の一途を辿っている。

一方、長崎県の経済に目を向けると、全国と比較し、経済への波及効果が大きい製造業の構成比率が小さく、製造業の弱さが際立っている。また製造品出荷額等において、輸送機械、一般機械のシェアが大きく、これら業種の業況の変化が景気動向に大きな影響を与えている。

県北地域の中核都市である佐世保市においては、製造業の構成比率は県全体と比較しても小さく、卸・小売業、サービス業の比率が大きいといった特徴がある。近年では、その卸・小売業の売上減少が続いており、特に中心商店街の売上減少が顕著である。

また佐世保市の主要産業のひとつである観光業においては、日帰り観光客数、宿泊客数ともに厳しい状況が続いており、観光消費額においても減少傾向が続いている。自衛隊や米軍基地がある佐世保市において、その存在が地域経済に与える効果は大きいものの、全国の基地がある都市と比較すると地場企業と業務面での取引規模は小さく、自衛隊、米軍基地の存在を地域経済に十分に活かすきれていない状況にある。

この厳しさが続く地域経済を活性化するには、佐世保の地域特性を活かした戦略、戦術の策定が重要となってくる。そして、産学官が連携を強化し、市民一体となって、“元気なまちさせば”の実現に取り組む必要がある。長崎経済同友会佐世保地区では、佐世保地域の経済活性化に向け、「観光振興」「産業育成」「基地経済」の3つの視点から、協議・検討を重ね、本提言を提案するに至った。

県北地域の活力を維持向上するためには、まず佐世保地域がトップランナーとして、その役割を果たすことが重要なことだと考える。弊会では本提言を機に、自治体や経済関連諸団体、市民の皆様と共働して地域の発展、活性化に向けて尽力する所存である。

最後に、本提言のとりまとめにあたって、貴重なご意見をいただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。

長崎経済同友会 佐世保地区

代表幹事 田中丸 善保

# 元気な“させぼ”から県北に活力を ～中核都市としての機能強化と活力あるまちを目指して～

少子高齢化の著しい進行と厳しい経済環境の中で、長崎県北地域の中核都市である佐世保地域の経済活性化を実現するため、市民の総力を結集した変革が求められている。

### 【社会的背景】

- 1. 少子高齢化の著しい進行**  
佐世保市の老年人口割合は全体の1/4を超え、今後20年で1/3まで増加する。
- 2. 景気の長期的低迷**  
長崎県および佐世保市の業況は低迷し、低成長状態から脱しきれない。



既存インフラを活用し  
市民の総力を結集した  
変革の必要性



### 【佐世保市の都市構造】

- 1. 産業構造**  
製造業の構成比率が小さい上、造船業を中心とした偏が見られる。都市全体として造船業の業況に大きな影響を受けやすい。佐世保市黎明期より、大きな構造転換は起こっていない。
- 2. 基地**  
米海軍基地、海上自衛隊佐世保基地、陸上自衛隊相浦駐屯地を擁する基地の街であり、その経済効果は非常に大きい。
- 3. 観光**  
西海国立公園、ハウステンボスの存在する九州を代表する観光都市である。
- 4. 小売業**  
市中心部に商店街を有し、小売業の中核をなしてきたが、中心街の小売業に占めるシェアは1994年24.2%であったものが2007年現在で14.4%まで低下している。

## 佐世保経済活性化への提言 元気な“させぼ”から 県北に活力を

### 【基本方針】

- 豊かな自然と基地のまちという、佐世保の特性を活かした提言とする。
- 今後市民の総力を結集していくための重要施策群として活用する。
- 産学官連携を行い、より多くの施策を実現していく。

### 観光振興

「観光資源の魅力と利便性向上による観光振興」

**提言1: 既存の観光資源の魅力向上と新たな観光資源の開発**  
「これまで観光資源として見ていなかった、あるいは十分に活用されていなかった地域資源を地域の宝として磨き上げるとともに、新たな観光資源として活用する。」

**提言2: 交通アクセス機能の充実と国内外旅客の利便性・満足度向上**  
「観光客の安心・便利・自由を追求し、観光客の利便性を改善することで満足度アップと消費誘発に繋げる。また日本の最西端に位置し、東アジアに最も近いという地の利を活かした施策を推進していく。」

### 【提言1: 施策群】

- ①街をシンボライズした観光資源の開発
- ②観光資源開発を目的とした市民基金の創設
- ③ハウステンボス・周辺地域との連携強化
- ④SASEBO時旅ツアーへの支援・協力
- ⑤食と地場産品のブランドの創出と知名度向上

### 【提言2: 施策群】

- ①観光関連事業所、団体等との連携強化
- ②長崎上海航路開設に伴う対応
- ③日本海側拠点港としての佐世保港の活用
- ④まちかど観光案内所の設置

### 産業育成

「産業育成と人材育成による地域力創生」

**提言1: 企業誘致や異業種間の連携強化による産業の創出**  
「企業の誘致・連携により、域外からヒト・モノ・カネの資源を積極的に導入し、地域の活力を生み出していく。」

**提言2: 教育機関の拡充による経済活性化**  
「優秀な看護人材を育成する体制を整備する。併せて雇用創出により若者が定着する仕組みづくりを行う一方で、離島出身者や留学生を積極的に受け入れていく。」

### 【提言1: 施策群】

- ①企業誘致およびM&Aの支援
- ②松浦・松島火力発電所の発電設備増設
- ③造船関連技術を活かした新事業支援
- ④農商工連携による低炭素社会への取組
- ⑤医商連携による中心市街地活性化

### 【提言2: 施策群】

- ①看護大学の設置
- ②離島出身者の確保と留学生の誘致促進
- ③外国語教育モデル事業の企画立案

### 基地経済

「地域経済と基地との共生・深化」

**提言1: 防衛基地機能拡充への積極的な対応**  
「東アジアの情勢変化に伴い、佐世保において求められる基地機能拡充に積極的に関与し、地域経済基盤の強化を図る。」

**提言2: 基地関連資源を文化資産として活用**  
「歴史的価値の高い基地関連資源を佐世保の近代歴史遺産として活用していく。」

### 【提言1: 施策群】

- ①護衛艦の大型化および潜水艦部隊に対応した艦船基地の整備
- ②米海軍・海自・SSKの機能的集約化
- ③防衛関連企業の誘致
- ④自衛隊(海自・陸自)の部隊誘致
- ⑤自衛隊および米軍の交流教育施設の誘致

### 【提言2: 施策群】

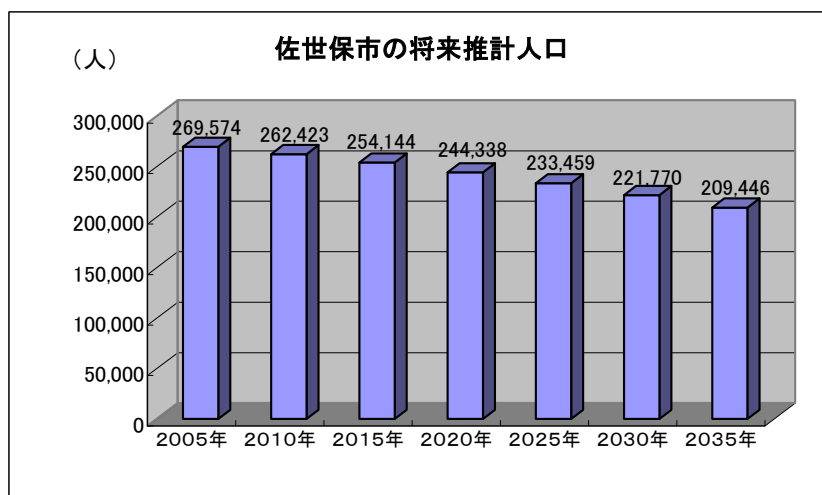
- ①退役艦船を観光資源として再活用
- ②海軍由来の歴史遺産の保存展示

## 1. 佐世保市の社会的背景と都市構造

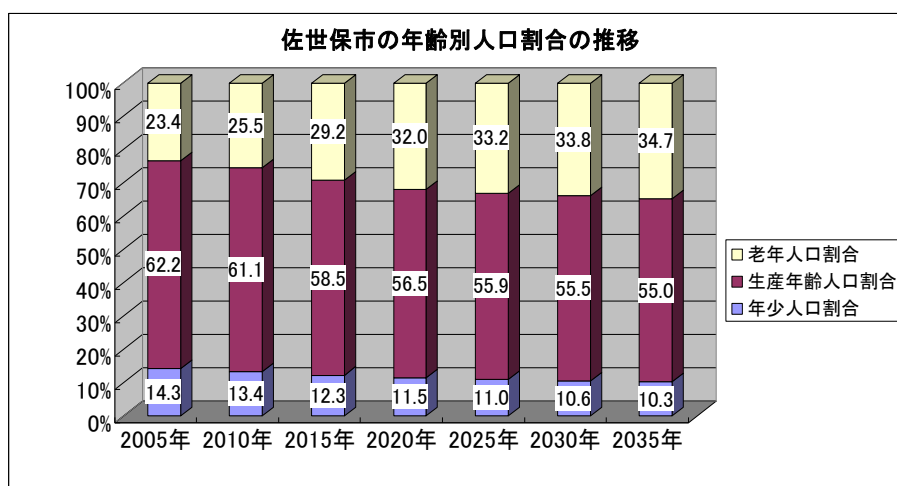
### (1) 佐世保市経済の現状

#### <人口>

○佐世保市の将来推計人口は減少傾向が続くことが予測され、老年人口割合も大幅な増加が見込まれるなど、少子高齢化の著しい進行も予測されている。



(出所)国立社会保障・人口問題研究所 平成20年12月推計



(出所)国立社会保障・人口問題研究所 平成20年12月推計

#### <産業構造>

○全国および長崎県平均と比較すると、経済波及効果大きい製造業の構成比率が小さく、製造業の弱さが際立っている。一方で、卸・小売業、サービス業の構成比率が大きい。

### 県内総生産の産業別構成比(2008年度)

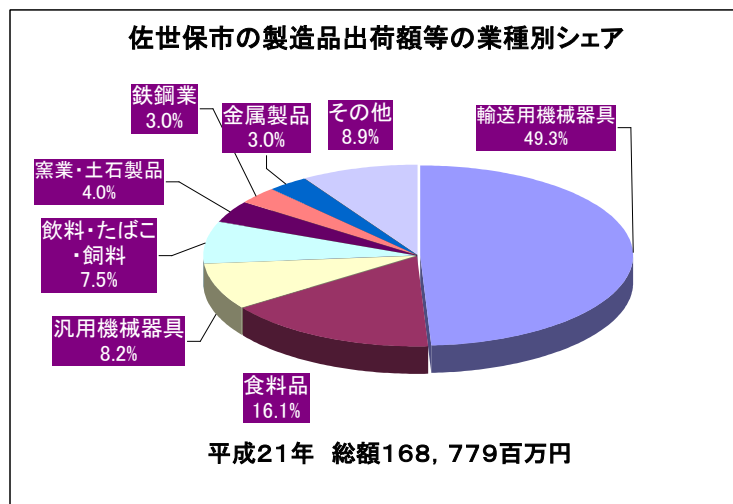
(単位:%)

	全国	長崎県				
		長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	
第1次産業	1.4	2.9	0.8	1.3	1.3	1.3
第2次産業	26.4	18.5	16.0	12.4	41.6	18.6
製造業	20.4	13.5	12.5	7.4	37.3	13.2
建設業	5.9	4.9	3.4	5.0	4.2	5.4
第3次産業	74.6	81.6	87.0	89.2	59.7	82.2
卸売・小売業	13.7	11.7	11.7	14.5	9.5	10.3
サービス業	22.5	24.9	28.1	27.4	22.5	21.4

(出所)日本銀行長崎支店資料、長崎県「長崎県の市町民経済計算」他

#### <製造業>

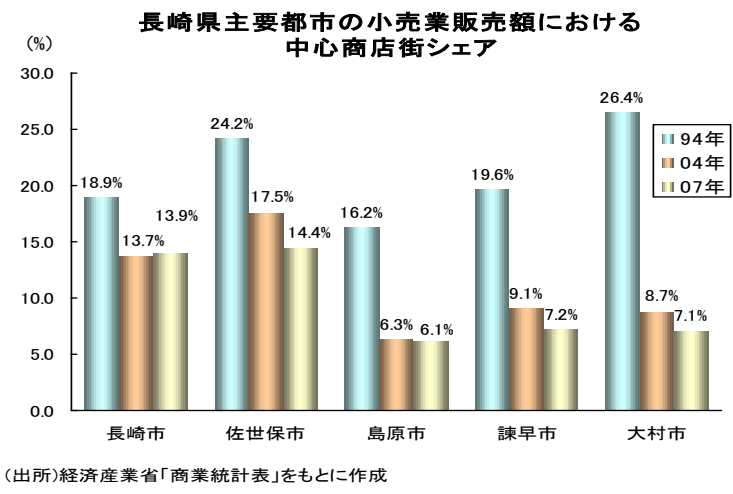
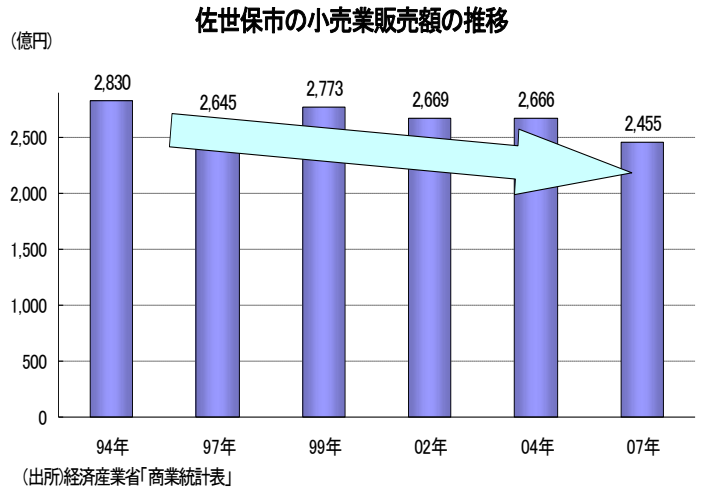
- 製造品出荷額等において、輸送用機械器具、汎用機械器具のシェアが大きく、これら業種の業況の変化が景気動向へ大きく影響を与える。



(出所)平成21年工業統計調査 経済産業省

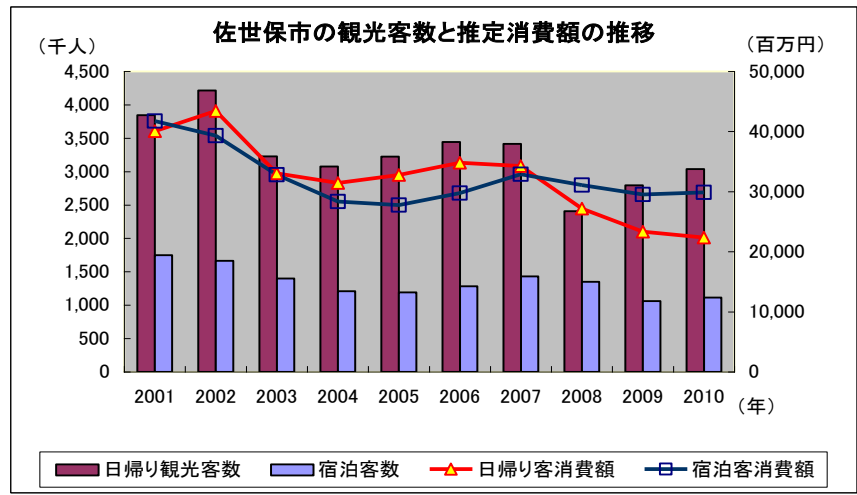
#### <商業>

- 小売業の売上減少が続いており、特に中心商店街の売上減少が顕著である。  
※「ジャパネットたかた」の販売額を通信販売分として控除している。



## <観光>

○日帰り観光客数・宿泊客数および推定消費額ともに減少傾向を辿っている。



## **(2) 社会的背景と都市構造**

### **<社会的背景>**

- ① 人口減少と少子高齢化の著しい進行
  - ・佐世保市の老年人口割合は全体の1／4を超え、今後20年で1／3の水準まで増加が予測されている。
- ② 景気の長期的低迷
  - ・長崎県および佐世保市の業況は低迷し、低成長状態から脱し切れていない。

### **<佐世保市の都市構造>**

- ① 産業構造
  - ・製造業の構成比率が小さい上、造船業を中心にした偏在が見られる。市全体として造船業の業況に大きな影響を受けやすい。佐世保市の黎明期より、大きな構造転換は起こっていない。
- ② 基地
  - ・米海軍基地、海上自衛隊佐世保基地、陸上自衛隊相浦駐屯地を擁する基地のまちであり、その経済効果は非常に大きい。
- ③ 観光
  - ・西海国立公園、ハウステンボスの2大観光地が存在し、九州を代表する観光都市である。
- ④ 小売業
  - ・市中心部に商店街を有し、小売業の中核をなしてきたが、中心商店街の小売業に占めるシェアは1994年24.2%であったものが2007年現在では14.4%まで低下している。



## 2. 提言策定に向けた基本方針と検討方針

### ～元気な“させぼ”から県北に活力を～

佐世保および県北地域経済は少子高齢<sup>6</sup>化や人口減少、消費の低迷等々で厳しい経済環境にある。この状況を打破し、地域経済を活性化するには、既存のインフラを活用し市民の総力を結集した変革が求められている。佐世保が持つ地域の特性を活かした戦略、戦術を策定し、産学官連携と市民の総力を挙げて実行することにより、持続可能な経済社会の実現を目指すとともに、「人の元気」「まちの元気」「産業の元気」を佐世保から県北地域につないで、地域全体の活力の維持・創出を図ることを本提言の最終目的とする。

佐世保経済活性化提言会議では提言策定に向けて「観光振興」「産業育成」「基地経済」の3分野の委員会を設置し、次の基本方針および各委員会の検討方針を掲げ協議を行った。

#### <基本方針>

- (1) 豊かな自然と基地のまちという、佐世保の特性を活かした提言とする。
- (2) 今後市民の総力を結集していくための重要施策群として活用する。
- (3) 産学官連携を行い、より多くの施策を実現していく。

#### <検討方針>

##### (1) 観光振興委員会

##### テーマ「観光資源の魅力と利便性向上による観光振興」

- 古くから地域にある資源・資産の中から宝を探し、磨いていく。そして共通の目的を持った人と人とのつながりを活かし、新たな観光資源として育てる。
- 円滑な移動やリアルタイムな観光情報の提供など、観光客の安心・便利・自由を追求し、観光客の利便性を向上させることで、滞在時間の延長や消費誘発に繋げる。また日本の最西端に位置し、東アジアに最も近いという地の利を活かしていく。
- 市民に認知されない観光資源は観光客に対しても受け入れられない。観光情報の対外的な発信強化に加え、佐世保市民への積極的な情報発信により地域の宝(観光資源)を認知・理解して頂き、市民全体で観光客におもてなしを実践する。

## **(2) 産業育成委員会**

### **テーマ「産業育成と人材育成による地域力創生」**

- 佐世保市周辺以外の地域からヒト・モノ・カネを導入、また既存企業それぞれが持つ経営資源の有効活用によって佐世保地域の活性化を図る。
- 若者を佐世保地域に定着させることで、複合的な経済効果の創出だけでなく、地域が抱える課題解決も図っていく。

## **(3) 基地経済委員会**

### **テーマ「地域経済と基地との共生・深化」**

- 東アジアの情勢変化に伴い、佐世保において求められる基地機能拡充に積極的に関与し、地域経済基盤の強化を図る。
- 歴史的価値の高い基地関連資源を佐世保の近代歴史遺産として活用していく。

## **3. 提言**

### **(1) 観光振興委員会**

#### **<提言 1>**

##### **□ 既存の観光資源の魅力向上と新たな観光資源の開発**

「これまで観光資源として見ていなかった、あるいは十分に活用されていなかった地域資源を地域の宝として磨き上げるとともに、新たな観光資源として活用する。」

#### **<具体的施策>**

##### **① 街をシンボライズ化した観光資源の開発**

- ・佐世保の玄関に佐世保をイメージする施設の設置(赤レンガ倉庫等の活用)
- ・新たなイベント(ミニアメリカンフェスティバル、マーチングフェスタ等)の開催や、まちなかに米国をイメージした店づくりを行う。
- ・現在、佐世保市内の企業連合体が調査・研究している水陸両用の遊覧船の運行実現に向け、官民共同で環境整備を行う。

## ② 観光資源開発を目的とした市民基金の創設

- ・ 企業、団体、市民等から広く寄付を募ることにより、観光振興活動に積極的に参加する意識の啓発と、観光資源開発財源の確保を目的とした市民基金を創設する。

## ③ ハウステンボス・周辺地域との連携強化

- ・ 佐世保観光のイメージ戦略として、ハウステンボス、九十九島の2大観光地を基軸とした情報発信の強化と、ハウステンボスや周辺地域と連携した着地型旅行商品の企画造成(陸と海とを組合せた癒しツアー等)など、着地型観光メニューの充実を図るための方策を協議検討する。

## ④ SASEBO 時旅ツアーへの支援・協力

- ・ 佐世保観光コンベンション協会が企画・実施している SASEBO 時旅に対し、企業・団体・市民の協力によるツアーコースの拡充と、時旅ツアー参加者に対する飲食・物販等のインセンティブ供与など、滞在時間の延長や消費に繋がる仕組みづくりを行う。

## ⑤ 食と地場産品のブランドの創出と知名度向上

- ・ 全国区となった佐世保バーガーに続く食のブランドとして、佐世保の伝統ある食(グルメ)や地域で産出された農水産品を使用した食材を対象とした、市民参加型のグルメグランプリ等を開催し、市内外への認知度向上を図る。
- ・ 佐世保に古くから伝わる食や地場産品(工芸品等)を背後にある歴史・文化とともに広く情報発信する。
- ・ 佐世保グルメと陶器(三川内焼・波佐見焼等)の食器とのコラボレーションにより、トータルとしての「食」の情報発信に取り組む。

### <提言 2>

#### □ 交通アクセス機能の充実と国内外旅客の利便性・満足度向上

「観光客の安心・便利・自由を追求し、観光客の利便性を改善することで、満足度アップと消費誘発に繋げる。また日本の最西端に位置し、東アジアに最も近いという地の利を活かした施策を推進していく。」

## ＜具体的施策＞

### ① 観光関連事業所、団体等(交通・宿泊・飲食・商業等)との連携強化

- ・ 駐車場情報の発信強化とパーク&ウォーク、パーク&ライドの促進によって回遊性を向上し、滞在時間の延長と消費誘発に繋げる。
- ・ 観光客の移動時の利便性向上と、生活路線として住民が共用できるコミュニティバス運行の検討。需要の多い地域や観光スポット間を結ぶ「ドア・ツー・ドアの交通機関」として利用促進を図る。
- ・ ルート案内や施設案内など観光客の移動を円滑にする情報提供の強化に加え、観光ルートのインフラ整備や観光地の環境美化活動を促進する。
- ・ 長期滞在が可能なホテル・旅館、古民家、マンション等、低価格な賃貸サービスや観光メニューを提供し、滞在型観光が可能な体制を作る。
- ・ 関係機関・団体との連携を強化し、国内外の会議やスポーツ大会等の各種イベントの誘致促進を図る。

### ② 長崎上海航路開設に伴う対応

- ・ 増加が見込まれる中国人観光客に対し、中国人が好むツアーメニューの整備と利便性の改善(中国語案内表示、ショッピング機能の充実、中国人留学生の活用等)。
- ・ 中国人観光客への円滑な接客・接遇や満足度アップのために、中国人の性格や行動パターン等、中国人観光客と接する際のマナーや接遇ポイントを観光関連従事者に周知徹底し、おもてなし力の向上を図る。

### ③ 日本海側拠点港としての佐世保港の活用

- ・ 北東アジアとの観光の拠点港として、佐世保港の機能を充実・改善させ、いかに活用していくか、協議検討する。
- ・ 佐世保釜山航路開設等により増加が見込まれる韓国人を始めとする外国人観光客の利便性・満足度向上のための方策を検討する。

### ④ まちかど観光案内所の設置

- ・ 観光案内、食事(佐世保グルメ)、特産品販売、佐世保の魅力を紹介するイベント開催等、観光客や市民が寛ぎ、楽しめるまちかど観光案内所(まちなか)を設置する。

## (2) 産業育成委員会

### <提言 1>

#### □ 企業誘致や異業種間の連携強化による産業の創出

「企業の誘致・連携により、域外からヒト・モノ・カネの資源を積極的に導入し、地域の活力を生み出していく。」

### <具体的施策>

#### ① 企業誘致およびM&Aの支援

- ・工業団地や各種インフラ等、企業誘致の受入環境を整備し、官民あげて誘致活動を推進し、雇用の創出を図る。
- ・技術力の向上や事業承継対応のためのM&Aに対し支援策を講じる。

#### ② 松浦・松島火力発電所の発電設備増設

- ・川内原発建設のため延期になっていた松浦火力発電所2号機建設の再開要請と、松島火力発電所発電設備増設の要請を行い、県北地域事業者の活性を図る。

#### ③ 造船関連技術を活かした新事業支援

- ・造船技術等を活かし、競争力のある次世代産業集積地となれるよう、環境構築を行う。(浮体式洋上風力発電設備等)

#### ④ 農商工連携による低炭素社会への取組

- ・農商工の連携により、低炭素社会実現に向けて、バイオマスエネルギーを活用できる仕組みを作る。(籾殻燃料製造循環モデルの構築等)

#### ⑤ 医商連携による中心市街地活性化

- ・商店街で、医療・介護・子育て・健康サービスに関わる機関と連携した事業(健康サロン等)を行うことにより、賑わいの創出ならびに高齢化に対応したコミュニティとしての役割向上に寄与する。

## ＜提言 2＞

### □ 教育機関の拡充による経済活性化

「優秀な看護人材を育成する体制を整備する。併せて雇用創出により若者が定着する仕組みづくりを行う一方で、離島出身者や留学生を積極的に受け入れていく。」

## ＜具体的施策＞

### ① 看護大学の設置

- ・ 優秀な若手人材の定着、高度化する医療への対応として看護大学の設置を要請する。

### ② 離島出身者の確保と留学生の誘致促進

- ・ 離島出身者の県外への流出を止め、また U ターンを円滑に進めるためのキャリアプラン構築支援を行う。
- ・ 留学生の誘致を促進する為に、就職説明会・トライアル雇用等、生活支援を含めた支援制度を拡充する。

### ③ 外国語教育モデル事業の企画立案

- ・ グローバルな人材育成のため、米国との社会的・経済的密接な関係や成長を続ける東アジア(中国、韓国等)との交流拠点としての優位性を活かし、幼児期より学べる外国語教育システムを構築する。

### (3) 基地経済委員会

#### <提言 1>

##### □ 防衛基地機能拡充への積極的な対応

「東アジアの情勢変化に伴い、佐世保において求められている基地機能拡充に積極的に関与し、地域経済基盤の強化を図る。」

#### <具体的施策>

##### ① 護衛艦の大型化および潜水艦部隊に対応した艦船基地の整備

- ・ 崎辺地区活用の基本計画を策定し、大型艦船や潜水艦が接岸できる岸壁を備えた艦船基地を整備する。

##### ② 米海軍、海自、SSKの機能的集約化

- ・ 点在している各基地・造修所の施設を集約すること等により、効果的な機能強化を促す。
- ・ 各施設の機能強化と併せて道路など関連インフラについても一体的に整備する。

##### ③ 防衛関連企業の誘致

- ・ 特殊技術を有するメーカーを誘致し、造修機能の向上と製造業の技術集積を図る。

##### ④ 自衛隊（海自、陸自）の部隊誘致

- ・ 海自・陸自の隊員増により居住人口の増加を促す。
- ・ 必要な居住施設を計画的に整備するとともに、隊員の制服姿が似合うまちづくりを推進する。

##### ⑤ 自衛隊および米軍の交流教育施設の誘致

- ・ ポートルネッサンス開発地に、海自、陸自、空自、米軍などの組織を跨いだ交流教育施設を誘致建設する。

**<提言 2>**

**□ 基地関連資源を文化資産として活用**

**「歴史的価値の高い基地関連資源を佐世保の歴史遺産として活用していく。」**

**<具体的施策>**

**① 退役艦船を観光資源として再活用**

・退役予定の護衛艦を佐世保港内（ポートルネッサンス）に観光展示する。

**② 海軍由来の歴史遺産の保存展示**

・海軍に由来する歴史遺産を文化施設（赤レンガ公園等）として整備する。



#### 4. 提言会議名簿

##### 『佐世保経済活性化提言会議』 構成員 (23.9.30現在)

	氏名 (敬称略)	会社名	担当
議長団	田中丸善保	(株)佐世保玉屋	議長
	池田敏章	(株)池田工業	副議長
	吉澤俊介	(株)親和銀行	副議長
	鬼木和夫	(株)親和銀行	顧問
統括委員会	西沢雅幸	(株)西沢本店	統括委員長
	辻 宏成	西九州倉庫(株)	統括委員
	山縣義道	(株)山縣	統括委員
	金子卓也	佐世保魚市場(株)	統括委員
	橘高克和	(株)橘高	観光振興委員長
	飯田満治	(株)九十九島観光ホテル	基地経済委員長
	福田金治	(株)福勇商店	産業育成委員長
	竹本慶三	(有)タケモト	観光振興副委員長
	峯 順通	佐世保観光タクシー(株)	観光振興副委員長
	小川 信	(株)大建	基地経済副委員長
	馬郡謙一	(株)馬郡喜商店	基地経済副委員長
	坂根康伸	大阪鋼管(株)	産業育成副委員長
	本岡吉彦	(学)九州文化学園	産業育成副委員長
事務局	西 和宏	(株)FFGビジネスコンサルティング	(観光振興)
	島浦 誠	(株)FFGビジネスコンサルティング	(基地経済)
	藤善 威	(株)FFGビジネスコンサルティング	(産業育成)

『佐世保経済活性化提言会議』 構成員 (23.9.30現在)

観光振興委員会		産業育成委員会		基地経済委員会	
氏名(敬称略)	会社名	氏名(敬称略)	会社名	氏名(敬称略)	会社名
石塚伊知郎	NBC長崎放送(株)	石井正剛	石井海陸興業(株)	宇土義継	宇土綜合写真(株)
岩政 孝	(株)日新食品工業	梅村良輔	(株)梅村組	圓田 真	佐世保タクシー(株)
内海和憲	(株)ヒューマングループ	円田 昭	(株)長崎マツダ	越智和博	(株)富士医科精器
円田浩司	長崎日産自動車(株)	大野高広	(株)商工組合中央金庫	門田治男	門田建設(株)
岡崎公一	(有)岡崎	棧 宗利	(株)カケハシ	相良紘一郎	西部産業(株)
小野 茂	(有)小野総合保険事務所	加治屋雅人	野村証券(株)佐世保	志村宏一	(株)日興防錆鋼業
川口博樹	西肥自動車(株)	加納洋二郎	相浦缶詰(株)	曾和輝正	双峰設備(株)
川崎伸一	(株)相生市場	下田弥吉	下田商事(株)	深町 等	(株)深町組
古賀 巖	(有)古賀広告美術社	高橋理一	佐世保日本無線(株)	福田康孝	丸福建設(株)
田雑豪裕	(株)庭建	田中省二	(株)タナカ綜合環境設計	松尾慶一	白山陶器(株)
田中丸善弥	玉屋商事(株)	徳勝 仁	徳勝法律事務所	納所佳民	九州ワーク(株)
田平 孝	九州電力(株)佐世保	中島洋三	中島ノズル(株)	松本由昭	(株)十八銀行
橋本正喜	九州ひぜん信用金庫	中村文昭	(株)中村ストアー	水上哲郎	(株)佐世保航海測器社
松尾淳一	(株)丸協食産	永津 隆	(株)福岡銀行 佐世保	本岡 眞	西部道路(株)
松永 瞳	(株)佐賀銀行 佐世保	松井志郎	(株)西日本流体技研	森 三四	佐世保重工業(株)
水田 孝	(株)水田	丸山佳裕	(株)九電工 佐世保	山口富嘉	佐世保港湾運輸(株)
見藤史朗	西部ガス(株)佐世保	森 数也	あいおいニッセイ同和損害保険 (株)長崎支店佐世保支社	山口嘉浩	ランドアーク(株)
村田純一	村田経理事務所	山下尚登	山下医科器械(株)	山下功三	(株)堀内組
山田敏博	みずほ証券(株)佐世保			山根由之	(株)西九州新生活センター
山田眞弘	HTB JR全日空ホテル				